

2018年1月10日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

Designed by Shiraki Nanami

大阪府寝屋川保健所で避難所アセスメント研修を行いました！

日時：2017年12月8日（金）（9：30～11：45）

場所：大阪府寝屋川保健所

参加者：大阪府寝屋川保健所職員、寝屋川市職員(15名)

ファシリテーター補佐：大学院生1名＋建築学科学生6名＋教員1名（合計8名）

今回の見どころ

大地震が発生したと想定し、保健師が避難所アセスメント訓練を行います。避難所アセスメント訓練とは、避難所図面を用い、使用可能なトイレはいくつあるのか、土足か土足禁止なのかを評価することです。その結果、避難所に対する具体的な支援内容を保健師と把握し、対応を考えます。今回の訓練では、混乱している避難所とそうでない避難所、2つの図面を用いアセスメントを行います。

プログラム実施風景



初めに、ワークの流れと地震発生時の状況を全員で確認していきます。



混乱している避難所は、通路の確保も不十分で人がたくさんおり衛生的に問題がありました。



混乱していない避難所では、家族ごとのスペースが仕切りで分けられていて、土足禁止になっていました。



グループ内に阪神淡路大震災の時に保健師として活動された方がおられ、他の人に作業を指示されていました。



災害時に保健師が使用するラピッド共通様式には、避難者総数を記入する欄がないと気づきました。



最後は発表を行い、次年度の研修に向けて意見を交換し、改善できる点を話し合いました。

プログラム実施結果

3グループとも、参加者全員が女性の保健師であったため、どのグループも「わいわい」話し合いながら進めていました。今回初めて保健師の方とお会いして、災害時に避難所の衛生面に注目することが驚きでした。福祉避難所へ移送する避難者のリストアップの時は「人工透析は医療対応なのか、それとも福祉として対応すべきなのか」が話し合われました。私の担当したグループは避難所アセスメントに慣れた方が多くおられ、効率よくワークをされていましたが、実際の現場に行くと難しいと感じました。福祉系と防災系が災害前に訓練を行うことにより、少しでも衛生的な避難所が運営できればと思います。

取り組んでいただいた寝屋川保健所職員、寝屋川市職員の方々、ご協力していただきありがとうございました。